

「地方公共団体サイバーセキュリティ対策事業」

【論点に関するコメント】

- アウトカム指標として重大インシデントは非常に重要であるが、他の視点からのアウトカム指標も検討すべき。具体的には、現状を把握した上で、本事業の完了期限、都道府県におけるセキュリティ対策の実効性や改善度合い等を指標に取り込めないか。また、長期アウトカムについては、定量的な指標を設定できないか検討すべき。
- セキュリティ対策の在り方については、AI 技術の社会実装が求められている中、今後の AI 技術の進化を十分把握・予測しながら、関係する各政府機関や自治体との連携をより一層深めることが重要。5 年に 1 度の更新が予定されていることを踏まえると、本事業の評価の枠組みのようなものがあったもよいのではないか。
- 補正予算で措置しているが、当初予算で対応可能であれば、ご検討いただきたい。

【その他】

- ベンダーの問題や資機材の高騰など、自治体における調達等に係る様々な課題をより一層把握し、自治体を支援していく体制が重要ではないか。特に、本システムに係る今後の調達において、自治体間に仕様書や運用水準の格差が生じないように検討を進めるべき。